資料−１　令和６年度自己評価結果について（報告）

１　令和６年自己評価結果

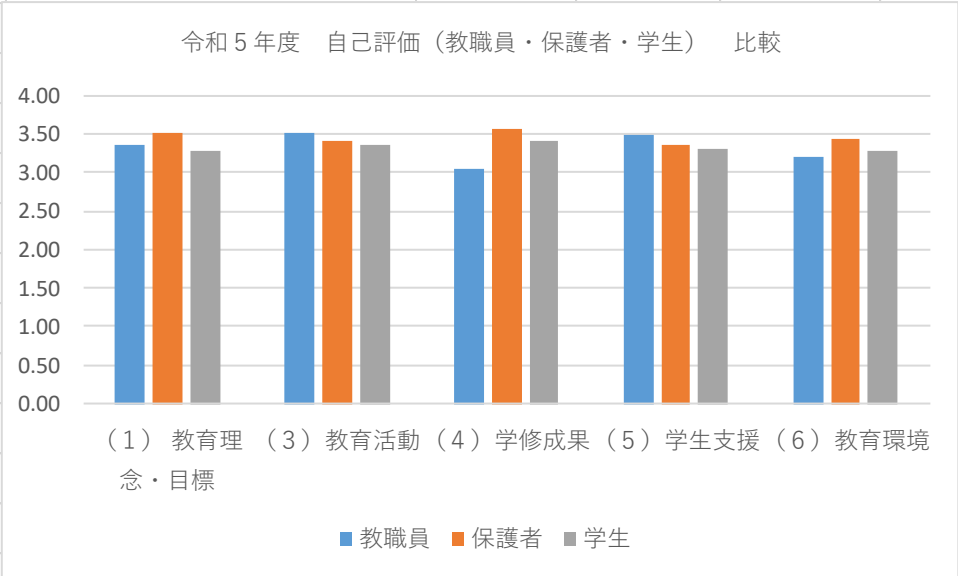
アンケート調査項目の中で、教職員、保護者及び学生の共通している領域を比較したグラフを以下に示す。選択（適切：４、ほぼ適切：３、やや不適切：２、不適切：１）の値をそのまま集計した結果であり、すべて「ほぼ適切」を上回っている。

教職員の学業成績の評価が 3.04 と他に比べて低くなっているが、退学者が３名と増加したことがこの評価になったと思われる。

令和6年度　自己評価（教職員・保護者・学生）　比較表

	教職員	保護者	学生
（１） 教育理念・目標	3.37	3.51	3.29
（３）教育活動	3.52	3.41	3.36
（４）学修成果	3.04	3.57	3.42
（５）学生支援	3.48	3.35	3.31
（６）教育環境	3.19	3.44	3.28

※適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

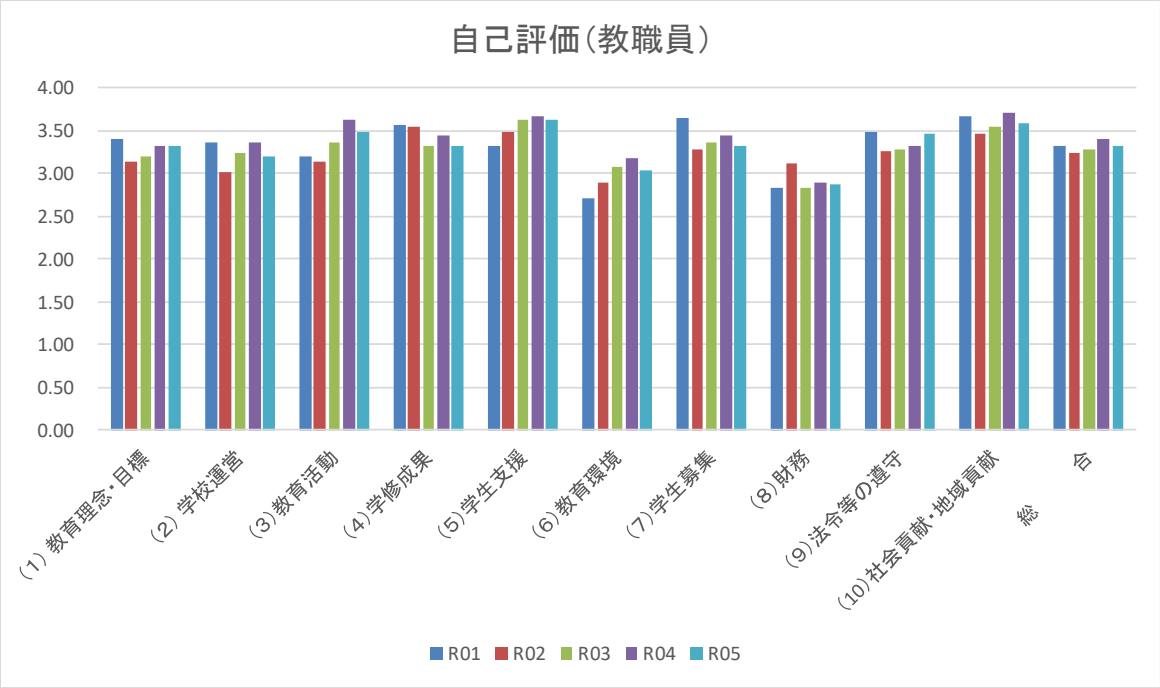


１－１　教職員

※適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1）　領域分析

	R01	R02	R03	R04	R05	R06
(1) 教育理念・目標	3.41	3.13	3.21	3.33	3.33	3.37
(2) 学校運営	3.37	3.02	3.25	3.37	3.21	3.33
(3)教育活動	3.20	3.14	3.38	3.63	3.48	3.52
(4)学修成果	3.57	3.55	3.33	3.44	3.33	3.04
(5)学生支援	3.33	3.48	3.63	3.67	3.63	3.48
(6)教育環境	2.72	2.90	3.08	3.19	3.04	3.19
(7)学生募集	3.64	3.29	3.38	3.44	3.33	3.26
(8)財務	2.83	3.11	2.83	2.89	2.88	2.81
(9)法令等の遵守	3.48	3.26	3.29	3.33	3.46	3.37
(10)社会貢献・地域貢献	3.67	3.46	3.54	3.70	3.58	3.67
総　　合	3.32	3.24	3.29	3.40	3.33	3.304



2）　記述一覧

よかったこと・・・HW環境が以前より大幅に改善された。教務事務間の連携が良くなった。
この地域の高校生の激減が大きく影響してきている。 これまで通りのやり方では、将来は見込めない。まったく異なる視点での学校運営を考えていく必要がある。
学校運営において、長年にわたって最北地区の市町村からご理解をいただけていることに感謝申し上げたい。また、地域のコアとして地域を牽引するべく人材育成に、一層の努力をしていきたい。
冷暖房設備が少し古いので　少しずつ新しくしてほしいです
業務、教科の分掌化を改善すべきだと思う（もっと明確に動きやすく）
授業や実習等、学生の能力や必要に応じてサポートできている

３）集計結果

	※適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1						
領域	No.	4	3	2	1	平均	領域平均
教育目標・教育理念	1	3	6	0	0	3.33	3.37
	2	3	6	0	0	3.33	
	3	4	5	0	0	3.44	
学校運営	4	4	5	0	0	3.44	3.33
	5	4	4	1	0	3.33	
	6	3	5	1	0	3.22	
教育活動	7	4	5	0	0	3.44	3.52
	8	6	3	0	0	3.67	
	9	4	5	0	0	3.44	
学修成果	10	3	6	0	0	3.33	3.04
	11	3	5	1	0	3.22	
	12	0	5	4	0	2.56	
学生支援	13	5	4	0	0	3.56	3.48
	14	5	4	0	0	3.56	
	15	3	6	0	0	3.33	
教育環境	16	1	7	1	0	3.00	3.19
	17	5	4	0	0	3.56	
	18	2	5	2	0	3.00	
学生募集	19	3	6	0	0	3.33	3.26
	20	4	4	1	0	3.33	
	21	2	6	1	0	3.11	
財務	22	0	2	7	0	2.22	2.81
	23	2	4	3	0	2.89	
	24	3	6	0	0	3.33	
法令順守	25	3	6	0	0	3.33	3.37
	26	3	6	0	0	3.33	
	27	4	5	0	0	3.44	
社会貢献・地域貢献	28	7	2	0	0	3.78	3.67
	29	5	2	2	0	3.33	
	30	8	1	0	0	3.89	

1－2　保護者

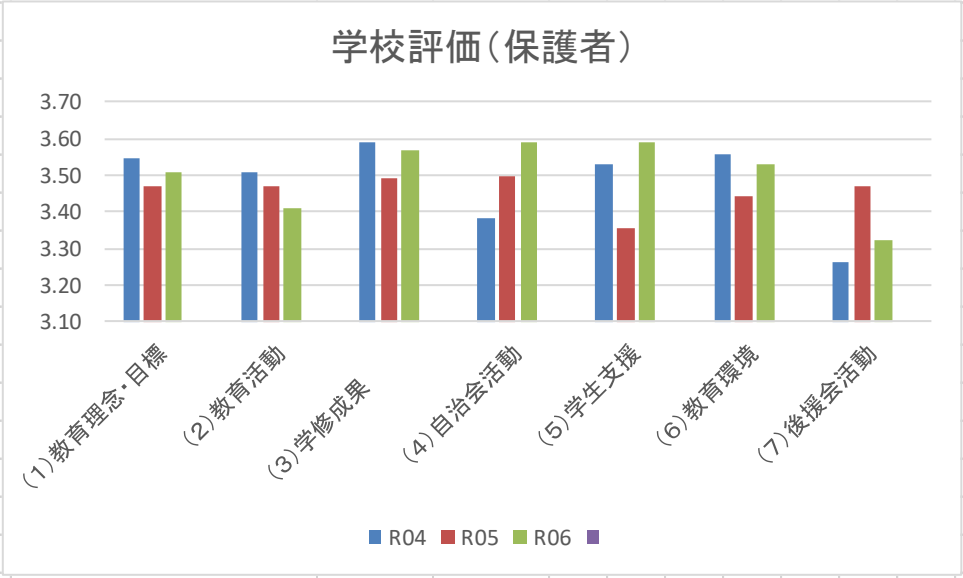
1）調査の概要

調査名:	学校評価アンケート調査
調査方法:	アンケート用紙／QRコード（forms）
調査期間:	2024年10月１日（火）～2024年10月11日（金）
対象者:	学生25名の保護者
回収数:	１７件
回収率:	68%

2）領域分析

	R04	R05	R06
（1）教育理念・目標	3.55	3.47	3.51
（2）教育活動	3.51	3.47	3.41
（3）学修成果	3.59	3.49	3.57
（4）自治会活動	3.38	3.50	3.59
（5）学生支援	3.53	3.35	3.59
（6）教育環境	3.56	3.44	3.53
（7）後援会活動	3.26	3.47	3.32

※適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1



3）記述一覧

卒業・就職を考える時期がやってまいりました。正直、ここまで来れるとは思っていませんでした。先生方にはたいへん感謝しております。特に、勤務時間外までも子供の生活態度や教育面に時間を費やしていただいたのに、小生の子供に対しての甘やかし等で、先生からの忠告を守れなかったことを後悔しています。学生さんに面倒見が良く、インスタグラムで学校生活（先日の芋煮会など）を見ることができありがとうございました。今後とも、新庄コアカレッジの卒業生が社会に出て活躍されることを願っています。
いつも大変お世話になっております。先生方には、息子の就職について親身になって対応していただき、感謝の思いでいっぱいです。どんな職種に就いたらよいか決めかねていた息子は、学校に来ていただいた企業の説明を聞き、目標を定めることができました。履歴書の作成から面接練習など、いつも息子をあたたくサポートしていただき、感謝の思いでいっぱいです。先生方の支えや励ましのおかげで、春から社会人としての一歩を踏み出せそうです。アルバイト、自治会活動、資格取得、日々の授業の他にたくさんの経験を積み、息子にとって充実した学校生活を送ることができています。入学させてよかったと思っています。校長先生はじめ、先生方、本当にありがとうございます。学校生活もあと半年になりますが、引き続きご指導よろしくお願いいたします。

４）集計結果

	※適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1						
領域	No.	4	3	2	1	平均	領域平均
教育目標・理念	1	10	6	1	0	3.53	3.51
	2	7	9	1	0	3.35	
	3	12	4	1	0	3.65	
教育活動	4	9	7	1	0	3.47	3.41
	5	8	8	1	0	3.41	
	6	7	9	1	0	3.35	
学修成果	7	9	7	1	0	3.47	3.57
	8	11	5	1	0	3.59	
	9	11	6	0	0	3.65	
自治会活動	10	12	4	1	0	3.65	3.59
	11	10	6	1	0	3.53	
学生支援	12	7	9	1	0	3.35	3.38
	13	8	8	1	0	3.41	
教育環境	14	11	4	2	0	3.53	3.53
	15	11	4	2	0	3.53	
後援会活動	16	8	6	2	1	3.24	3.32
	17	8	8	1	0	3.41	

1－3　学生

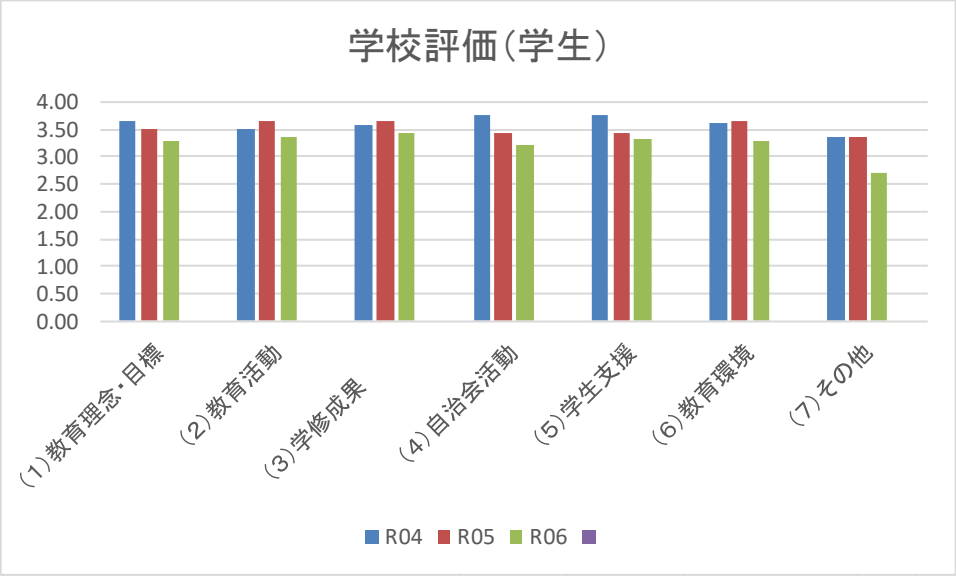
1）調査の概要

調査名:	学校評価アンケート調査
調査方法:	forms（オンライン）
調査期間:	2024年10月1日（火）～2024年10月11日（金）
対象者:	学生30名（1学年：15名、2学年：15名）
回収数:	24件（1学年：11件、2学年：13件）
回収率:	80%

2）領域分析

	R04	R05	R06
（1）教育理念・目標	3.65	3.51	3.29
（2）教育活動	3.51	3.64	3.36
（3）学修成果	3.56	3.67	3.42
（4）自治会活動	3.75	3.42	3.23
（5）学生支援	3.75	3.42	3.31
（6）教育環境	3.61	3.64	3.28
（7）その他	3.36	3.36	2.71

※適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1



3）記述一覧

学校行事での他のクラスと交流ができるとこがいい
学びの喜びを再確認しながら通わせていただいています。
もう少し分かりやすく教えて下さい
ポッドが欲しい
簿記の先生の教え方が難しいので、分かりやすく教えてほしい
授業の説明の速度を落として欲しい
他学科の生徒（社会人コースの学生）にあいさつをしてもシカトされるしムシされると感じてました。一般の生徒もシカトされているようです。あいさつされたら返す位はして欲しい物だと感じます。

4）集計結果

	1学年	11					
	2学年	13					
領域	No.	4	3	2	1	平均	領域平均
教育理念・目標	1	10	12	2	0	3.33	3.29
	2	12	7	5	0	3.29	
	3	11	8	5	0	3.25	
教育活動	4	10	10	4	0	3.25	3.36
	5	11	11	1	0	3.43	
	6	12	10	2	0	3.42	
	7	10	9	5	0	3.21	
	8	14	8	2	0	3.50	
学修成果	9	11	11	2	0	3.38	3.42
	10	12	8	4	0	3.33	
	11	14	9	1	0	3.54	
自治会活動	12	12	9	3	0	3.38	3.23
	13	10	6	8	0	3.08	
学生支援	14	15	8	1	0	3.58	3.31
	15	9	8	6	1	3.04	
教育環境	16	11	9	3	1	3.25	3.28
	17	10	11	3	0	3.29	
	18	9	13	2	0	3.29	
その他	19	5	9	8	2	2.71	2.71

２　課題への対応

１）教育活動改善に向けた学生や保護者へのアンケート調査の実施

学生と後援会（保護者）へのアンケートを実施している。

今後も継続した取り組みにより、学校運営の改善方法などに活かす。

２）財務基盤の中長期的な安定

2-1. 収益構造の多角化

目的：学費以外からの収益源を確保し、財務基盤の安定性を向上させる。

具体策：これまでの求職者支援訓練や離転職者支援訓練などの就職支援事業を継続し、さらに、通信制高等学校のサポート校を開設して学習・教育支援事業を展開して安定した収入源の確保を図る。

2-2. コスト削減と効率化

目的：財務負担を軽減し、中長期的な経済的持続可能性を高める。

具体策：電力や水道などの公共料金の管理、Microsoft365A1 を活用した授業運営の効率化、IT インフラのクラウド化などにより、ランニングコストの削減を目指す。

2-3. 学生数増加のための広報活動強化

目的：学生数を増加させ、学費収入の安定化を図る。

具体策：効果的な広報戦略を策定し、SNS やデジタルマーケティングを活用した学校の魅力を発信する。また、地域社会との連携を通じ、入学志願者の層を広げる活動を行い、入学率の向上を目指す。